

## 平成20年度資格者登用制度の準備を急ぐ

本年度において、平成20年度より「管理職資格として公的上級資格を有すること」が義務づけられた事から、各自、資格取得準備が進められている。

これは、当社の技術力が充実へ向かっており、さらにその裏付けとしての資格を有する事が業務的質を向上させ、リーダーとしての自覚を促すとともに、顧客からの信頼度及び満足度が満たされるからである。

資格の内容としては、管理技士資格、生物分類技能検定2級[水圏生物部門]、海洋調査士、技術士1次2次、港湾潜水技士、コンクリート診断士等が推奨され、社内資格取得制度も利用できるようになってきている。

現時点での取得希望者を下記に示す。

- ・1級土木施工管理技士 吉川 元
- ・技術士1次[環境部門] 榎田 元起
- ・生物分類技能検定2級[水圏生物]  
山下 仁 小野寺 宏晋
- ・港湾海洋調査士[環境、気象、海象]  
小谷 将史 山本 剛 竹山 正知
- ・2級港湾潜水技士  
宮本 豊守 野中 浩士郎 堺 栄市朗

## 特集 高額計測機器を用いた観測業務における事故防止のための遵守事項、策定される

去る平成18年7月初旬、ADCP浅海曳航観測中、浅瀬の海底面にセンサー部周辺を接触させるトラブルが発生した。

機能損傷は免れたが、こすり傷が残る事となった。最悪を想定した場合、データを得られないばかりか、修理にも高額を要し、顧客からの信頼も失う可能性が非常に高い結果を招く事となる。

注意義務を促進する為の全社的な対応が急がれていたが、同様の事故を再び起こす事のない様に、トラブルを事前に避ける為

「観測機器の取扱いと機器損傷回避の遵守事項」が策定された。これは、決して高額な計測機器の取扱いに終始するものではなく、顧客からの借用機器及び当社所有の機器全般に及ぶと考えるべきである。

なお、[ADCP曳航観測における損傷事故回避の留意点/フィールド編]を下記に抜粋する。 (企画情報室)

### [ADCP曳航観測における損傷事故回避の留意点/フィールド編]

1. 曳航前には潮位の確認と、測線直下及び周辺の水深及び障害物等の掌握を事前に行い、1.3m以浅の曳航は原則として実施しない事。致し方のない状況下では、専用のプロテクターを増設する事とするが、1m以浅は厳に避ける。
2. 曳航船のローリング及びピッチング特性を理解した上で、ADCP本体の入水割合を決め、設置位置は磁界の影響のない、泡巻きの少ない中央部側舷を選び、取付角度は±5度以内を保持し、必要以上にロープを張り過ぎない。
4. 悪天候の海上での艀装は曳航船の特性を考慮した上でを行い、機器の落水、機器への衝撃等は厳に与えない事。
5. バッテリーの充電不足及び関連機器の接続ケーブルの端子または接点等の損傷は欠測の原因となるので、損傷を招くような粗雑な扱いはしない事。また、機器関連ケーブル等は踏んだり無理に引っ張ったりしない事。

## 最近の動向

過去2年間の業務依頼の内容を再確認したところ、計測機器のオペレーション業務及びCAD図面の作成と共に、作成ソフトを使用した報告書作成と生物目視及び水中撮影の依頼が、増加傾向にあると言える。

もともと映像関係は、当社の主力水中業務として位置していたが、一眼レフデジタルカメラとF.E.レンズを採用した事から、業務の幅が広がりを見せた。また、ビデオ撮影面でも、超広角レンズとVX-2100の採用で同様の成果を出している。

これらの機種を取り扱うことに関しての注意点は、ますますシビアさを増してきているが、より成果を出せる技術力と高額な機器を扱う慎重さを身に付ける事が大切となる。一部の傾向だが、損傷等の責任を負いたくない為に精度は別として従来のシステムを使用している者もいるが、考えを改めてもらいたい。

アグレッシブに新しい事へ挑戦する体質が当社の特徴であるのだが、このような行為は、自身の進歩を自らの手で止めるようなものだ。勇気が必要だ。

上記のシステムは、不良視界及び大型構造物の撮影に絶対的威力を持つものであるし、無視界下においては、当社開発の無視界撮影システムもある。

伝統を立派に継承し、進化させていく事が社会参加であり、それが社会貢献に結びついて行くと考えて頂きたいと思う。(代表取締役)



## [8月度技術協力実績] 主要抜粋

### 潜水計画課

- ・大型作業台船組立 1件
- ・計測機器底上設置 1件
- ・福岡営業所応援 1件

### 河川海洋調査課

- ・ADCP曳航観測/解析 2件
- ・海洋生物撮影業務 1件

- ・海産底生生物撮影業務(昼夜) 1件
- ・潮間帯付着生物目視調査 3件
- ・自社所有船外機船操縦業務 2件
- ・河川環境モニタリング調査 2件
- ・海洋環境モニタリング調査 4件
- ・レンタル ADCP/2件、AAQ -1183/3件
- ・福岡営業所応援 6件

### 福岡営業所

- ・ADCP曳航観測/解析 2件
- ・計測機器底上設置 3件
- ・漁礁魚類目視観察 1件
- ・海生生物目視観察 2件
- ・河川環境モニタリング調査 3件
- ・海洋環境モニタリング調査 5件

### 本社特編ユニット

- ・地質試料採取及び簡易分析業務 1件
- ・洪水履歴調査 1件